

# Mint Club



令和 3 年 (2021 年) が、近代的造幣事業を創設した明治 4 年 (1871 年) から数えて 150 周年にあたることから、造幣局において様々な記念事業を実施いたしました。造幣局の歩んできた歴史と、150 周年記念事業の一部をご紹介します。

## 造幣局 150 年のあゆみ

### 明治・大正期

明治 3 年 (1870 年)

わが国初の本格的な洋式設備による近代工場である造幣局の建設が竣工。

明治 4 年 (1871 年)

2 月 15 日 (新暦 4 月 4 日)、右大臣三条実美ら政府高官、各国公使など合わせて約 100 名が列席し、創業式を挙げる。



慶応 4 年 (1868 年)

明治新政府は、混乱した貨幣制度を立て直すため、造幣工場の建設を決定。



明治 4 年 (1871 年)

わが国初の本格的な洋式設備による近代工場である造幣局の建設が竣工。わが国初の本格的な洋式設備による近代工場である「新貨条例」が制定される。通貨単位が円、銭、厘と定められ、実質的に金銀複本位制を採用。

新貨条例に基づき金貨幣 5 種、銀貨幣 4 種、銅貨幣 4 種が製造された。

明治 10 年 (1877 年)

我が国の勲章 (旭日章の章身) の製造を開始。



明治 12 年 (1879 年)

大蔵省内に造幣局東京出張所開設 (明治 40 年廃止)。

明治 16 年 (1883 年)

時の造幣局長 遠藤謹助の発案により造幣局構内の桜並木の一般開放が始まる (「桜の通り抜け」の開始)。

大正 10 年 (1921 年)

大阪・中之島中央公会堂にて創業 50 周年記念式典を挙げる。

明治 30 年 (1897 年)

本格的な金本位制を採用した「貨幣法」が制定される。貨幣法は昭和 63 年 (1988 年) に廃止されるまでわが国貨幣の基本法としての地位を保ち続けた。

### 昭和期



昭和 4 年 (1929 年)

東京市麹町区に東京出張所を開設 (後に豊島区に移転) し、貴金属製品の品位証明 (ホールマーク) 業務を開始。

昭和 20 年 (1945 年)

広島支局開設、仮工場で貨幣の圧印検査作業開始。ほどなく原爆により被災。



昭和 34 年 (1959 年)

現行の 5 円黄銅貨幣及び 10 円青銅貨幣、発行開始。



昭和 42 年 (1967 年)

現行の 50 円白銅貨幣及び 100 円白銅貨幣、発行開始



昭和 44 年 (1969 年)

明治 44 年 (1911 年) に火力発電所として建設された建物を改装し、造幣博物館が開館。



昭和 4 年 (1929 年)

わが国の勲章の本格的な製造を開始。



昭和 13 年 (1938 年)

従来の貨幣材料を軍需に振り向けるべく、貨幣の材質変更の必要が生じ「臨時通貨法」が制定される。臨時通貨法は昭和 63 年 (1988 年) に廃止されるまで効力を有し続けてきた。

昭和 21 年 (1946 年)

広島支局、現在地 (広島市佐伯区) で操業開始。

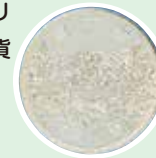
昭和 30 年 (1955 年)

現行の 1 円アルミニウム貨幣、発行開始。図案は公募され約 2600 点の応募があった。



昭和 39 年 (1964 年)

わが国初の記念貨幣である「オリンピック東京大会記念」千円銀貨幣、100 円銀貨幣を発行。



昭和 46 年 (1971 年)

皇太子同妃両殿下の御臨席の下、福田大蔵大臣主宰により造幣事業 100 周年記念式典を挙げる。

昭和 49 年 (1974 年)

高度経済成長に伴う小額貨幣の需要が高まり、貨幣製造枚数が過去最高を記録 (56 億 1 千万枚)。



昭和 61 年 (1986 年)

収集用に表面に光沢をもたせた「ブルーフ貨幣」セットの製造を開始。

昭和 62 年 (1987 年)

「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律」制定 (翌 63 年施行)。

「貨幣法」、「臨時通貨法」等が廃止され、名実ともに金本位制に終止符。

昭和 50 年 (1975 年)

貨幣セットの国内向けの交付業務を開始。  
海外向けの貨幣セット交付は昭和 44 年 (1969 年) に開始。

昭和 57 年 (1982 年)

500 円白銅貨幣の発行開始。一般流通用の貨幣が 1 円から 500 円までの 6 貨種となる。



## 平成・令和期

平成元年 (1989 年)

消費税の導入により釣銭などに用いられる小額貨幣の需要が高まり、1 円貨幣製造枚数が過去最高を記録。

平成 3 年 (1991 年)

広島支局において「花のまわりみち」開始。



平成 12 年 (2000 年)

500 円ニッケル黄銅貨幣の発行開始。流通貨幣に世界で初めて斜めギザを採用。



平成 15 年 (2003 年)

初めてカラー印刷を施した貨幣を製造・販売 (第 5 回アジア冬季競技大会記念千円銀貨幣)。



平成 19 年 (2007 年)

戦後初となる外国貨幣 (ニュージーランド 1 ドル銀貨幣) の製造を受注。



平成 21 年 (2009 年)

造幣博物館 (大阪本局)、リニューアルオープン。

平成 24 年 (2012 年)

初めて虹色発色技術を採用した貨幣を製造・販売 (第 67 回国際通貨基金・世界銀行グループ年次総会記念千円銀貨幣)。



平成 24 年 (2012 年)

戦後初となる外国一般流通貨幣 (バングラデシュ 2 タカ貨幣) の製造を受注。

平成 28 年 (2016 年)

東京支局がさいたま市大宮区に移転し「造幣局さいたま支局」として開局。



令和 3 年 (2021 年)

さいたま支局において「桜のさんぽ道」開始。

令和 3 年 (2021 年)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会入賞メダルを 1964 年東京大会、1972 年札幌冬季大会、1998 年長野冬季大会に続き製造。5 千個もの大型メダルの製造は初の試み。

令和 3 年 (2021 年)

二色三層構造や異形斜めギザなどの最先端の偽造防止技術を施した新しい 500 円貨幣の製造を開始。

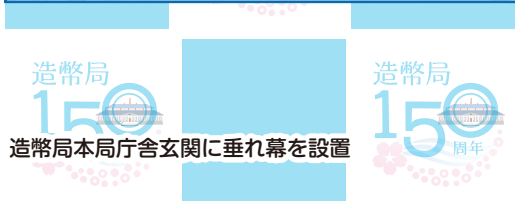
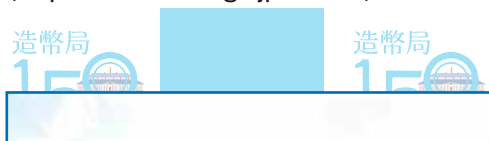




令和3年10月4日(月曜日)、造幣事業150周年記念式典を開催し、秋篠宮皇嗣同妃両殿下よりオンラインでの御視聴を賜るとともに、秋篠宮皇嗣殿下からビデオメッセージ形式にておことばを賜りました。また、両殿下におかれましては、式典終了後、オンラインにより工場を御視察になられました。



造幣局ホームページ内に造幣局150周年特設サイトを設置  
(<https://www.mint.go.jp/150th/>)



造幣局本局庁舎玄関に垂れ幕を設置



以下の製品の申込受付を行った結果、申込数量が販売数量を上回りましたので、抽選を実施しました。



東映株式会社 テレビ商品化権営業部長 杉浦 美恵 様  
令和3年11月9日(火曜日) 抽選



独立行政法人造幣局 監事 村上 佳子 様

販売製品	販売価格 (消費税・送料込)	販売数量	申込数
仮面ライダー生誕50周年 2021 プルーフ貨幣セット	14,000 円	20,000 個	50,532 個
令和3年銘ジャパンコインセット (五百円改鑄) 【入金案内送付順の抽選】	2,700 円	45,000 個	84,782 個
500 円バイカラー・クラッド貨幣 発行記念メダル	32,000 円	3,000 個	8,544 個
国宝章牌「薬師寺」(金) 【入金案内送付順の抽選】	441,000 円	800 個	2,022 個
国宝章牌「薬師寺」(銀)	34,000 円	2,000 個	3,658 個
FIDEM 第36回 日本/東京大会 開催記念 金メダル	218,000 円	200 個	1,749 個

令和3年12月16日(木曜日) 抽選

販売製品	販売価格 (消費税・送料込)	販売数量	申込数
史跡名勝天然記念物保護100年 記念 2021 プルーフ貨幣セット - 史跡 -	14,000 円	17,000 個	23,625 個
史跡名勝天然記念物保護100年 記念 貨幣セット - 史跡 -	2,600 円	36,000 個	42,890 個

## 桜の通り抜け・花のまわりみち関連製品のご案内

造幣局本局で開催する「桜の通り抜け」は、明治16年(1883年)に始まって以来、大阪の春の風物詩として多くの皆様に永く親しまれてきました。また、造幣局広島支局では、平成3年(1991年)から構内の一部を「花のまわりみち」として一般公開し、広く親しまれております。

令和2年は「桜の通り抜け」「花のまわりみち」を、令和3年は「桜の通り抜け」を、残念ながら中止いたしました。本年はそれぞれ開催する予定です。

造幣局では、「桜の通り抜け」「花のまわりみち」を記念した貨幣セット及び桜の通り抜け記念メダルの通信販売を行っており、本年はそれぞれの会場での現地販売も予定しておりますので、是非ご期待ください。



桜の通り抜け 2022 プルーフ貨幣セット  
販売価格：14,000 円(消費税・送料込)



## 桜の通り抜け



令和4年桜の通り抜け貨幣セット  
販売価格：2,400 円(消費税・送料込)



## 花のまわりみち



令和4年花のまわりみち貨幣セット  
販売価格：2,400 円(消費税・送料込)

### 「桜の通り抜け」「花のまわりみち」開催に関するご注意

今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催を中止する場合があります。開催に関する詳細については、造幣局ホームページをご確認ください。なお、開催を中止した場合には、会場での現地販売は行いません。

これらの貨幣セットの申込方法等の詳細については、造幣局ホームページでお知らせしております。また、造幣局ハローダイヤル (TEL: 050-5548-8686 午前9時~午後8時、年中無休) でもご案内しております。


# 令和4年桜の通り抜け記念メダル

表面  
金メダル

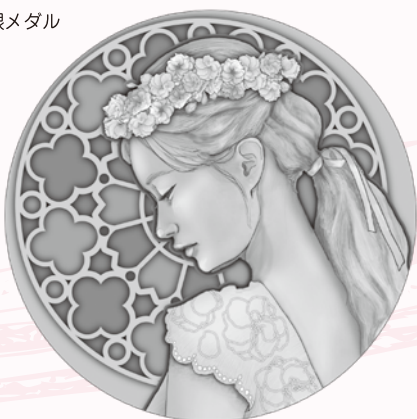


裏面




■販売価格: **941,000円**(消費税・送料込)  
 /販売予定数量: 400個(海外販売用等として若干数を控除)  
 /材質: 純金  
 (造幣局品位証明刻印入り(「」をメダル裏面に打刻))  
 /直径・重さ: 40mm・約95g  
 /仕上: 虹色発色加工(表面)、鏡面仕上げ(裏面一部)  
 /その他: 特製本革ケース入り

表面  
銀メダル



裏面



■販売価格: **27,000円**(消費税・送料込) /販売予定数量: 2,000個(海外販売用等として若干数を控除)  
 /材質: 純銀(造幣局品位証明刻印入り(「」をメダル側面に打刻)) /直径・重さ: 55mm・約135g /仕上: 銀いぶし仕上げ、カラー印刷(裏面)  
 /その他: 化粧ケース入り

表面  
銅メダル



裏面



■販売価格: **7,500円**(消費税・送料込) /販売予定数量: 2,500個(海外販売用等として若干数を控除)  
 /材質: 丹銅 /直径・重さ: 55mm・約110g /仕上: ブロンズ仕上げ、カラー印刷(裏面) /その他: 化粧ケース入り

今年の桜の通り抜け記念メダルは、令和4年の「桜の通り抜け」の“今年の花”「福祿寿(ふくろくじゅ)」を題材に、表面には桜をイメージしたステンドグラスと女性をデザインし、花の冠と服の刺繍は、今年の花である福祿寿をモチーフにしております。裏面には「桜の通り抜け」の文字と福祿寿をデザインしております。ぜひこのメダルをお客様のコレクションに加えていただき、未永くご愛蔵いただければ幸いです。

## ◀桜の通り抜け記念メダルの申込要領▶

申込数	申込数に制限はありません。 (販売予定数量を超えたときは、抽選とさせていただきます場合があり、その際は、申込数にかかわらず、購入数を制限する場合があります。)
申込受付期間	<b>令和4年3月29日(火曜日)～4月20日(水曜日)消印有効</b>
申込方法	同封の申込はがき又は郵便はがき若しくは造幣局オンラインショップ ( <a href="https://www3.mint.go.jp/">https://www3.mint.go.jp/</a> )により、お申し込みください。
申込先	(はがき表) 〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79 造幣局「桜の通り抜けメダル」係 (はがき裏) ①メダルの種類(金・銀・銅)及び申込数量 ②郵便番号 ③住所 ④氏名及び読み仮名 ⑥電話番号 ⑥お客様コード(9桁の数字、造幣局に登録のある方はご記入ください。)
受け付けた方への連絡	造幣局発行の払込用紙等ご入金のご案内を <b>5月中旬頃(抽選となった場合は5月下旬頃)</b> から順次送付いたします。払込用紙の裏面等に記載の注意事項をよくお読みの上、払込期限内にコンビニエンスストア、郵便局(ゆうちょ銀行)(現金振込手数料はお客様のご負担)又は銀行(銀行振込手数料はお客様のご負担)でご入金願います。30万円を超える場合は、コンビニエンスストアではご入金いただけませんので、郵便局(ゆうちょ銀行)、銀行をご利用ください。 なお、造幣局オンラインショップからお申し込みいただいた方は、クレジットカードでもお支払いいただけます。また、製品の発送はご入金・お支払い後となります。抽選となった場合は、受付できなかった方への連絡はいたしませんので、ご了承ください。
製品の発送	<b>5月下旬頃(抽選となった場合は6月上旬頃)</b> から順次発送いたしますが、お申込みの状況によっては、製品のお届けが7月以降となる場合がありますので、ご了承ください。なお、複数の製品を同時に申込み及びご入金・お支払いいただきましても、別々のお届けとなる場合があります。
返品について	製品到着後、速やかに段ボールから取り出しご確認ください。万一、不良品又はお申込みと異なる製品が届いた場合は良品と交換いたします。恐れ入りますが、到着後速やかに造幣局へご連絡のうえ、ご返送願います(送料造幣局負担)。なお、お客様のご都合による返品やお客様の責に帰すべき不具合には応じることはできませんのでご注意ください。 製品は涼しく湿気の少ない場所で保管してください。なお、年月の経過によりケースの色合い等が変化する場合がありますが、交換には応じることはできませんのでご了承ください。
個人情報の取扱い	お客様の個人情報は、ご入金・お支払いの確認、製品の発送等お申し込みいただいた製品の販売に関する事務に利用するほか、造幣局製品やイベントのご案内、お問合せ・アンケートのために利用する場合があります。お客様のご理解がない限り、その他への利用はいたしません。

造幣局では、最新の情報をメールマガジンで配信しています。  
ご登録は、右記のホームページまでお願いします。

※この冊子に掲載している画像はイメージのため、現物とは異なります。

発行所 独立行政法人 造幣局  
 〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号  
 造幣局ホームページ(URL) <https://www.mint.go.jp/>  
 お問合せ先 造幣局お客様サービスセンター  
 TEL 0570-01-2626(ナビダイヤル)  
 ナビダイヤルをご利用できない場合06-6351-2626  
 (平日午前9時～午後5時)

令和4年3月28日発行(第80号)